

弘前市市民参加型まちづくり 1%システム 実践セミナー

平成29年1月22日

弘前市 栄町々会

栄町の概要

- 1、町会設立年・・・昭和40年（今年で52年目）
- 2、「世帯数」・・・約550世帯
- 3、「人口数」・・・約1,200人
（弘前市住民基本台帳 H28. 2. 1現在）

となっており、

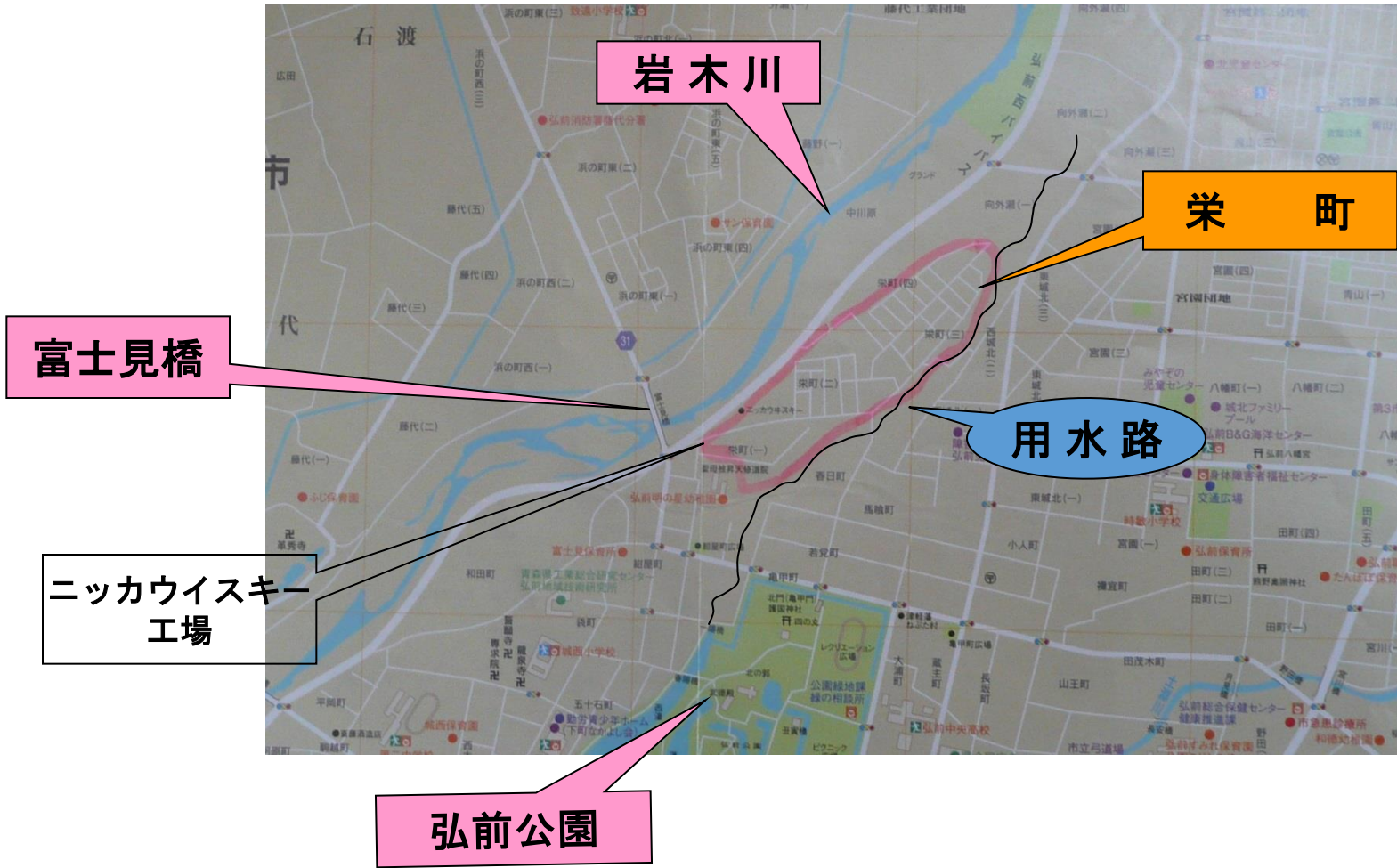
そのうち

15才以下的人数	約130名	(11%)
16～64才の人数	約620名	(51%)
65才以上的人数	約450名	(38%)

となっております。

（弘前市年齢階層別人口統計資料より）

栄町の位置図



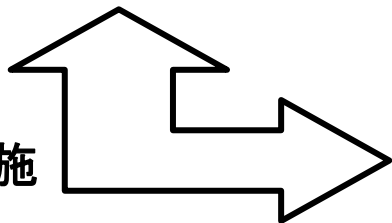
栄町町会での主な行事



子供達を主体にした「ねぶた祭り」と「夏まつり」は、交互に実施しております。

夏まつり

隔年毎に実施

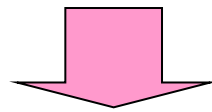


ねぶた祭り

事業実施のきっかけ

町会設立後、50年ほど経過している中で、町民は年々高齢化しており、その中で一人世帯や二人世帯のみの世帯数が増加しております。

このような状況の中で、新しい内容等を取り入れながら従来どおりの町会運営を講じることは非常に困難な状況であり、町会費の値上げ等を検討しましたが、なかなか難しいことです。



町内の主な行事の中で、従来通りの内容等を行いながら、一部新たな発想転換を折り込んだ内容を活用した『1%システム事業が出来ないか?』との考え方のもとで取り組んだところです。

本町会での『1%システム事業』の活用状況

平成26年度
ふれあい夏まつり



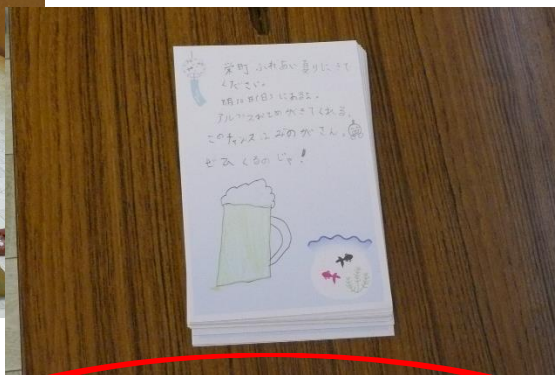
(従来)
子供達を中心に実施



(今回)
子供達と特に日頃寂しい高齢者等の一人世帯や二人世帯が一緒になって楽しもうとの呼びかけで行った。



事業内容等



今までは、子供達を中心に夏まつり実施してきた。



今回は、子供会で朝のラジオ体操後に町内の高齢者へお誘い葉書を書いた。



一人世帯や二人世帯の高齢者層を中心としながら子供達と一緒に『夏まつり』を目指した。



アクシデント発生

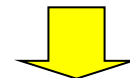
開催当日台風の接近により、降雨のため急遽会場変更を行った。

平成28年度 初めての避難訓練

初の『自主防災会』を
組織したため



訓練の実施
することは
当然のこと
ですが。



弘前市での組織率は、まだ20%未満
であることから、他の町会でも『この
ような実施方法もあるんだ』というこ
とを是非知って欲しいとのことから実
施したものです。



負傷者を担架での救助運搬訓練



消火訓練

事業内容等

・避難訓練の実施目的

災害時に備え「自主防災会役員」等を中心に、迅速に対応出来るよう初動訓練等を実施する。

また、消火訓練や救急救命処置等の知識も習得出来るようする。

・対象者

①自主防災会役員 ②婦人部 ③老人クラブ ④町内一般希望参加者

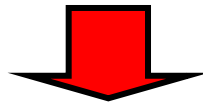
・実施内容

- ①自主防災会役員の役割分担内容の確認等
- ②避難訓練の実施
- ③炊き出し訓練の実施
- ④消火訓練の実施
- ⑤救急救命処置の実施

事業を実施した結果及び広がり等

今年度実施しました「初めての避難訓練」については、当日町会自主防災会役員を主体とした訓練等を考えておりましたが、一般町民等の見学もあった他に、他町会等からの見学等もありました。

また新聞掲載もあったことから、その後問い合わせ等がありましたことは、私達が念願していた波及効果等があったのではと思っております。今後『自主防災組織』の組織率向上に繋がればと期待するものです。



『災害』はいつ、如何なる時に発生するかわかりません。そのためには、町民の安全に対して如何なる時にも対応出来るように日頃から心がけしなければと思っております。『自助』を第一にしながら『共助』等を推し進めるために、「訓練対象者」を序々に一般町民まで広げていく予定です。

今後の展望等

我が町会では、「1%システム事業」の活用を2回ほど活用させておりますが、事業採択までの諸準備等については、それなりの苦労等があります。

しかし、『事業』後には、「本当にこれで良かったのか？」といったも反省しているところですが！！

本事業は、平成23年度から実施され、既に6年間の中で各種団体等がいろいろな事業等を趣向を凝らしながら取り込んでおり、それらの実績等が数多く蓄積されております。

しかし、団体等の中では、「事業申請等は大変だ」「資料作りは大変だ」等があるようですが、一度取り組んで見たら『それでも無い』ことが理解するのではと思われます。

当町会では、本事業が継続される限り機会ある毎に『本事業の活用を』と考えております。

これから申請者へのアドバイス等 (事業を実施して見ての経験)

- ・ 事業採択申請書を提出後に、審査委員会の審議あり、その中で事業内容等によっては、各委員からの質問がありますので、事前に『想定問答集』等を準備されたら宜しいかと思えます。また、プレゼンテーション時にも同様です。

- ・ 話すよりも、「目」で訴えられる『**パワーポイント**』等の活用

- ・ 最後は、『**市民協働係**』のアドバイスを受けるべし！

ご清聴ありがとうございました。